

環境教育プログラムについてのアンケート集計

アンケート回収率 52.73%

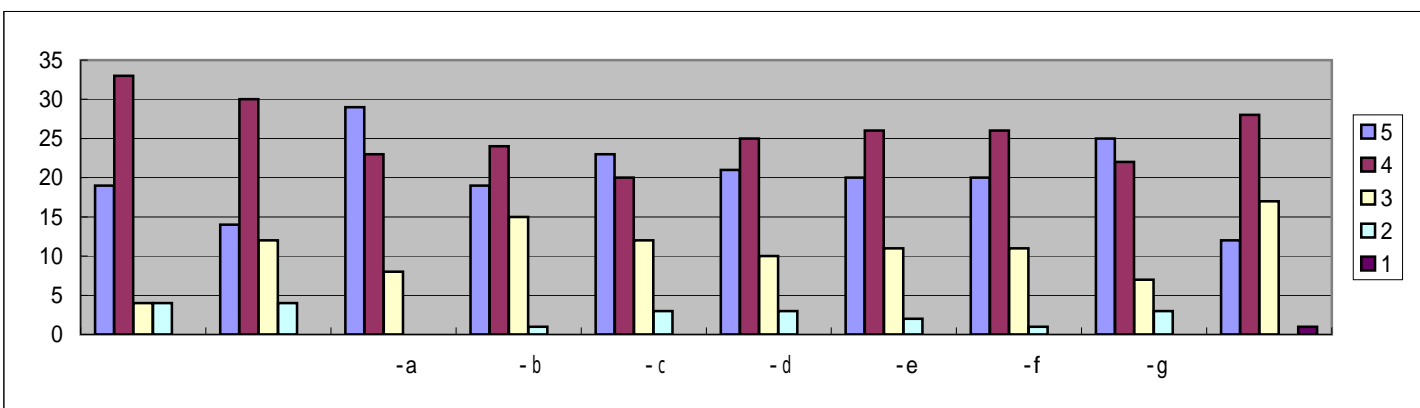
質問項目

H22.3.4修正1件

今回のプログラムは、赤城周辺地域の自然環境を生かした、特徴的なプログラムであると感じますか。
 幼稚園～小学校～中学校程度の学齢の幼児、児童、生徒を対象とし、それぞれの発達段階を考慮できていると感じますか。
 プログラムシートの形式や内容について
 a 実施時期、プログラム名、対象年齢、関連強化を上端に明記し、検索しやすくした。
 b プログラムの概要を帯の中に記載、サブプログラム名と併記し、内容把握をしやすくした。
 c 活動のまとめり毎に で囲い、全体の活動イメージをつかみやすくした。
 d 活動の例を写真で示し、個々の場面でのイメージをつかみやすくした。
 f 指導体制、準備などの情報を下半分にまとめて、活動計画を立てやすくした。
 g 学習指導要領、教科書との関連性を明記して、学校現場での活用に配慮した。
 実際に指導者の立場として提案されたプログラムの一部を使ってみたい考えますか

集計結果

	5	4	3	2	1	平均
	19	33	4	4	0	4.12
	14	30	12	4	0	3.90
-a	29	23	8	0	0	4.35
-b	19	24	15	1	0	4.03
-c	23	20	12	3	0	4.09
-d	21	25	10	3	0	4.08
-e	20	26	11	2	0	4.08
-f	20	26	11	1	0	4.12
-g	25	22	7	3	0	4.21
	12	28	17	0	1	3.86



感想・意見

覚満淵周辺は前橋から観察に行ける手近な高原湿地で、適切だと思います。
 赤城周辺の自然を利用したプログラムになっていると思います。
 都市部から山間部へ広がるフィールドでありながら、あまりにもピンポイント過ぎる。
 もう少し「赤城」にこだわってもよいのではないかと、同じような地理的環境があれば、同じことができそうです。

ある程度幅のある年齢の子どもが、一緒に楽しめそうなプログラムになっていると感じました。
 竹で作るお箸など、幼稚園児では少し難しそうな内容もあると思いました。
 発達段階とともに対象の人数によってできるものとそうではないものがあるように感じます。
 発達段階で、プログラムの展開内容や指導のポイントが違ってくるのではないかと、一つのプログラムで異なる年齢にする展開事例も示した方がよい。

「幼稚園から中学校まで」のように対象の広いプログラムがあるが、同じプログラムでうまく対応できるかな？と思いました。
 プログラム数が増えていけば、さらに発達段階に十分に対応できると思います。

指導、体験の流れが画一的な面が見られる。「講話」を安易に使用している感がある。「体験」「環境教育」という視点からプログラムを作成するには、あくまでも子どもが主体とならなければならないであろう。

-a 対象年齢が学年になっていてわかりやすいと思いました。理科との関連が多く、参考になると思います。検索しやすいと感じますが、内容が実際に取り組められるかが大事だと思います。自然環境保護につながるポイントが不足かなと思います。

-b サブプログラム名を、より内容の分かりやすいものにしていただけるとよいと思います。講義を含めた実践型のプログラムが、高学年や中学生では必要になると思います。文字をもう少し大きくし、白抜きではない形にすると見やすくなると思います。

-c 簡潔にまとめられているので、全体のイメージがつかみやすい活動の様子がわかりやすいと思います。およその時間配分なども分かると活動のイメージをつかみやすいと思いました。

-d 写真があってイメージをつかみやすいです。写真の下に解説があればいいと思います。写真大きくするとよい。

-e 到達目標(ねらい)でプログラムの内容についてイメージが持てると思いました。同じプログラムでも、実施する学年によりねらいをも変わってくると思います。

-f 留意点は必要であると思いました。準備するものは、団体に用意していただけるのか、参加者が持って行くのか、わかりにくい感じがします。参加者が持って行く場合は、できるだけ具体的に示していただけると良いと思います。具体的な動きがもっと分かるとイメージしやすいと思います。

-g プログラムの関連性が広い範囲で分かり、良いと思いました。よく配慮されていると思います。環境教育は、理科との関連性が強いと思うが、社会、家庭科などもう少し教科の横断的なプログラムも見てみたいです。教科書で学べないことを学ぶことを最優先に開発してほしい。学習指導要領の内容は、別紙とし、項目のみでもよいのでは。

内容についてはよく練られていて工夫された良い案だと思います。実践を重ねてそのたびに改善することで、より使いやすいものに育っていくと思います。色々興味深いプログラムがあります。参加できる機会があれば児童たちに体験させてみたい内容だと思います。小3の理科で、昆虫の生活や体の仕組みと関連させて、自然の観察ができるようなプログラムは使ってみてみたいと思いました。学習したことを記録したり、疑問や感想を書いたりしておくためのワークシートがあると、事前事後の学習に生かすことができ、また、本プログラムにおける学習のイメージをつかむためにも有効ではないかと思います。教科書に準拠した内容、あるいは、その発展的内容身近な環境(市街地、住宅地等)にもどったときに、活用できる技能こういった体験活動を授業の一環として活用するためには、行事の中に組み込まれないと難しい一面があり、活用するのが難しいのがとても残念です。行事の中にどう組み込むことができるかが課題であると思います。安全面の強化により、活用しやすくなると思います。学校によって自然素材に違いがあるので、多様な指導プログラムの提案が多くの学校に対応するためには、今後必要になってくると思う。学年単位で参加できるプログラムがもっとあればと思います。具体的な指導展開例があれば、さらに、活用しやすくなると思います。一本の木を基準として、季節によって様子がはっきりと変わることがよく分かるような教材があるとよい。今、自分の周囲の環境に何がおきているのか、自分たちに何ができるのか、を学ぶためのフォーマットの提示